

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |   |            |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 2    | 更に地域と一体となったグループホームを目指し、地域に密着し、周辺の環境に合致した取り組みとして、交流の機会を増やしていく。  | 地域との交流の機会を増やし、更に地域に密着した施設を目指す。                     | 町内の活動や施設内のイベントへ地域の方を招待するなど、交流の機会を増やしていく。  | 6ヶ月        |
| 2        | 4    | 運営推進会議の運営について、いきいき支援センターの参加を依頼し、単なる報告や情報交換にとどまらず、率直な意見発言を引き出す場となるよう心掛ける。   | 沢山の意見など情報収集を行い、施設運営の質の向上を目指す。                      | 出来るだけ沢山の方に参加して頂けるよう、曜日や時間の調整、意見などの情報収集を行いご利用者様へ質の良いサービスへとつなげる。                  | 6ヶ月        |
| 3        | 5    | 併設するカフェを有効活用し、認知症カフェや交流の場として提供し、民生委員、認知症サポーターや地域のボランティアなど専門職以外の人たちがスタッフとして携わることができる環境を整え、社会資源などの情報収集を行い質の良いサービスへとつなげる。 | 併設のカフェで、専門職の方や地域の方から社会資源などの情報収集を行い、質の良いサービスへとつなげる。 | 併設のカフェを利用し、認知症カフェや地域の方などを対象に交流の場を提供し、沢山の社会資源などの情報収集を行い、ご利用者様へ質の良いサービスの提供へとつなげる。 | 6ヶ月        |
| 4        | 35   | 避難訓練は夜間を含め様々な想定で実施することが望ましい。災害発生時の職員の確保について検討していく。   | 災害時にスムーズに避難が行えるよう、日頃より地域との関係を大切に心がけ交流を図る。          | 地域が開催するイベントや、法人内でのイベントへ近隣の方を招待するなど、日頃より地域の方たちとの交流を深める。                          | 6ヶ月        |
| 5        |      |  |  |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。